

柏で「下総玩具の世界」展

素朴な味わい 手づくり人形

創始者 松本さんの業績後世に



素朴な味わいが人気の下総玩具

招き猫など千点展示

素朴な味わいで人気のある下総（しもうさ）玩具の創始者、松本節太郎さん（九七）「柏市根戸」の作品展「下総玩具の世界」（柏市教委、アートウォーク実行委員会共催）が、あす一日からJR柏駅西口の柏市民ギャラリー「柏高島屋」二階で開催される。会期は五日まで、入場無料。

あすから、一部販売も

た。

松本さんは一九〇三（明治三十六）年、東京・下谷の染物屋の四男として生まれる。四十代ごろまでは職を転々としていたが、一九四五（昭和二十）年に戦災で柏市へ疎開して来たおりに、ちょっとした好奇心から真山の粘土を使い手ねりで七福神などの人形を作るようになり、やがてこれをリュックに詰め上野、浅草、亀戸天神などへ出向き売り始めた。

下総玩具という名はこの

いわゆる「型もの」ではなく、一つ一つを手ねりし、天日乾燥させてから素焼きをし、岩絵の具で彩色するといったくの手づくりの人形が醸し出す素朴な味わいが人気を呼び、全国各地から注文が寄せられていたが、今年一月に高齢

に伴い廃業を決意し、第一線から退いている。後継の職人がいないことから、下総玩具は松本さん一代で終わってしまっただ。

今回の作品展は、消え行く運命にある下総玩具を広く知ってもらおうと企画され、下総首人形（西遊記、十二支、七福神など）や下総天神、ダルマ、招き猫など約千点が展示され、一部は販売される。

同展に関する問い合わせは市教委生涯学習部文化課（電話0471-67-1111、1内線6309）

千葉日報 2000年（平成12年）4月30日（日）